

特集

市長に提言!!

— 福津市こども未来議会 —

市内の中学生を対象に、自分たちが主体的に参画できる取り組みや、福津市が今後どのようなまちになったらよいかを協議し、市長に提言する福津市こども未来議会。「ふるさと福津」への思いを醸成するとともに、次世代の担い手としてのリーダーを育成することを目的に、約4カ月間準備を重ね、11月13日に市議会議場で中学生が提言しました。

中学生の視点で 市長への提言を検討

市内3中学校の生徒会役員ら42人は「持続可能なまち福津」を目標としたまちづくり」というテーマのもと、8月から11月にかけて、福津市のさまざまな課題に対する解決方法などを考えてきました。

中学生の視点で福津市の現状を捉え、自分たちが主体的に参画できる取り組みにはどのようなことがあるかなどを検討。放課後、福津市の課題の洗い出しと提言内容の決定、

グループでの提言内容の協議などを通して、準備してきました。

今回、中学生が掲げた提言内容は主に「観光」「環境」がテーマ。そのため、各分野を担当する市職員が会議に参加して質問に答えることで、中学生は理解を深めながら思いの考えを伝え合っていました。

いざ市議会議場へ 思いを伝える工夫の数々

これまで、発表は企画内容を書き込んだ大きな模造紙を見せながら説明してきましたが、今回はパソコンで作成した資料をスクリーンに映し出しながら説明しました。大きな文字を使用したり、画像を使用したり、相手に伝わりやすいよう随所に施された工夫の数々。中には、分かりやすくするため、スクリーンだけでなく模造紙で手書きの資料を作成したグループもありました。市長や教育長は中学生の発表に時折うなずきながら、中学生が感じている福津市の課題とその解決方法に耳を傾けていました。

市議会議場での未来会議に向けて、市職員や先生からアドバイスを受ける福間・津屋崎・福間東中学校の生徒会役員の皆さん。疑問に思ったことやわからないことを質問したり、パソコンで調べたりしながら提言内容を検討しました。



福津市長 原崎 智仁 様

「持続可能なまち福津」を目指したまちづくりに関する提言

私たち市内三中学校の生徒会役員等42名は、今身近に感じる福津市の現状を中学生の視点から捉え、「自分たちが主体的に参画できる取り組み」や「福津市が今後どのような可になったらよいか」について議論してきました。今日発表した8つのプロジェクトにつきまして、提言書を取りまとめましたので、ここに提言いたします。

中学生から市長へ

議案 5 福津市お花大増殖計画 地域のつながりを強化するための施策

福津市の現状と課題

- ・観光客の数が年々増加している
- ・高齢者と直接関わる機会が少ない

課題解決方法

- ・福津市内に住んでいる人たちが観光スポットをより良くしていく
- ・高齢者と一緒に花を植える

そうすることで…

- ・地域とのつながりが今よりも増え、福津市をもっと好きになることができる
- ・福津市を誇りに思い、地域の自然に興味を持てるようになる
- ・自然に興味を持つことでボランティアに参加する人が増え、ゴミが減少する

議案 6 福津市観光ツアーを作ろう 観光客増加のための目的別観光ルートの設定

福津市の現状と課題

- 訪れる人が少なく、市民でも知らないことが多い

課題解決方法

- ・バスツアーを作る
- 「歴史見学コース」⇒ 駅→あんずの里→新原・奴山古墳群→カメラホール→宮地嶽神社→駅
- 「インスタ映えコース」⇒ 駅→かがみの海→自由行動（光の道周辺）→宮地嶽神社→駅
- 「アクティビティコース」⇒ 駅→かがみの海→マリンスポーツ体験→潮湯の里→宮地嶽神社→駅

そうすることで…

- ・訪れる人が増え、観光地としての福津を発信することができる
- ・買い物客や観光客など、人が集まることでまちが活性化し、SNSなどで知名度アップ

議案 7 クリーン大作戦!! 観光資源と連動した環境美化

福津市の現状と課題

- 観光資源はたくさんあるが、その観光資源を活用できていない

課題解決方法

- ・観光資源を巡りながらゴミを拾うウォークラリーを行う
- ・到着した先にゴミ回収ボックスを設置。ゴミを出せば、そこで福津の特産品がもらえる

そうすることで…

- ・福津の特産品と観光スポットをいろいろな人に知ってもらえる
- ・ゴミが減り、普段からまちをきれいにする意識が高まる
- ・より福津市が活性化し、観光客が増える

議案 8 福津市の SNS アカウントを活発にしよう!! SNS を活用した情報発信

福津市の現状と課題

- 観光客が多くなく、宿泊施設が少ないことから、滞在時間が短い

課題解決方法

- ・福津市をたくさんの人に知ってもらうため、SNS に伝統工芸品などの作品を投稿したり、景色がきれいな場所に、フォトスポットを設置する
- ・夏祭りや秋季大祭などのイベントを宣伝する

そうすることで…

- ・観光客が増え、地域が盛り上がる
- ・工夫しだいで福津市の収入が増え、より良くするための新たな取り組みに活用できる

8つの提言

8つのグループに分かれて提言を検討。中学生が考えた、福津市の現状と課題、その解決方法の概要を紹介します。

議案 1 ランニングコースをつくろう! 健康増進や世代間交流を目的としたランニングコースの整備

福津市の現状と課題

- 山や木々が多く、とても自然豊かだが、運動する場所や観光ポイントが少ない

課題解決方法

- ・既存の歩道を子どもも高齢者も楽しめるように約 2 kmのランニングコースにする
- ・コースの諸所に花や木、噴水などがある休憩所を設置する

そうすることで…

- ・運動する場所を増やすことで、市民の健康増進につながる
- ・休憩所を設置することで、異なる世代の人が集まり、地域の人との仲が深まる

議案 2 Fukutsu enjoy in the sea 新たな観光の目玉づくりとそれらの情報の発信

福津市の現状と課題

- 観光スポットはたくさんあるのに知られておらず、海はゴミが多くて生かしきれていない

課題解決方法

- ・Instagramなど、インターネットで宣伝
- ・海上アスレチックや砂アートなど、観光の目玉づくりをする

そうすることで…

- ・インターネットで宣伝することによって、若者たちの間で流行し、そこから幅広い年代へ
- ・海上アスレチックをつくることで、ここにしかない海になる
- ・誰でも楽しめる砂アートは幅広い年代の交流につながるのに加え、見映えがいい

議案 3 福津市の観光について 二次交通(駅から先の交通網)充実のための施策

福津市の現状と課題

- 多くの観光スポットがあるが、あまり知られておらず、二次交通が弱い

課題解決方法

- ・自転車のレンタルを復活させ、タイやラオスなどで利用されている三輪タクシーの「トゥクトゥク」を走らせる
- ・スタンプラリーやごみ拾いコンクールを行い、ポスターや SNS で福津の良さを広める

そうすることで…

- ・観光客が増え、まちの活性化が期待できる
- ・福津市の知名度が上がる

議案 4 Let's clean 大作戦 環境美化(缶やペットボトルのリサイクル)

福津市の現状と課題

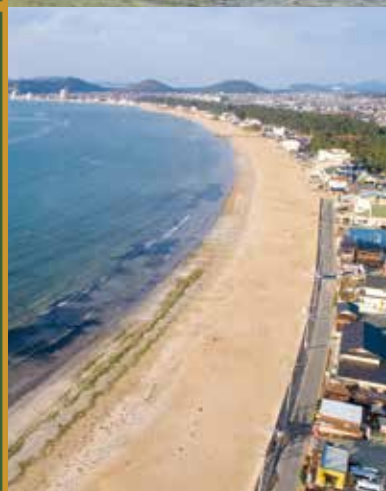
- ・ペットボトルや缶が道端や公園に落ちている
- ・分別収集をしているが、回数が少ない。自分たちでできるリサイクル方法が必要

課題解決方法

- 中学校にリサイクルボックスを設置

そうすることで…

- ・マイクロプラスチックのもとであるペットボトルが減り、きれいな海が保たれる
- ・公園や町中に落ちているペットボトルや缶が少なくなる





今月号の特集は、津屋崎中学校、福間東中学校、福間中学校の生徒の皆さんと行なった「福津市こども未来議会」です。これは、平成31年度(令和元年度)に市役所に「青少年活躍推進係」を新設したときに始めた取り組みです。

全国ではめずらしく、若い人口が増加している福津市。地域コミュニティとともにある本市の中学生に、もっと市政参画と活躍の場を用意したいという思いで生まれたこの取り組みは、今年で三回目となりました。今回も、私と教育長が揃って、市議会本会議場での会議に出席させていただき、コロナ感染拡大防止対策として、インターネット配信される中、彼女彼らたちから市政に対する熱い提言を受けました。その提言について、私と教育長からも、気付きを質問し、意見交換をしました。

毎年、発表者が変わる中でも、提言の内容と質が着実にブラッシュアップされています。3中学校ともに、先輩たちが積み上げてきた提言が、コロナ禍を強く生き抜く経験を経て、より具体性と実現可能性のある政策提言となっており、本当に頼もしく素晴らしいと感じました。

全8つの提言には、共通した指摘も含まれており、それらは、なかなか鋭いものです。「福津市には観光スポットや資源、いいところが沢山あるのに、活かしてない」。

資源を最大限に活用するための観光周回コースの設置、これを明るく照らす街灯などの環境整備、健康増進のためのランニングコースやアスレチック施設の設置。市内を花や緑で埋め尽くし、市民の皆さんを元気づけたい。クリーン大作戦の模様や結果をインスタにハッシュタグを付け発信するなど。

福間駅からの二次交通については、東南アジアの観光地を走る「トクトック」という乗り物を松林や宮地嶽神社、ビーチへの観光客呼び込みの起爆剤とするという提言。なんとも斬新で、彼らのわくわくする気持ちが伝わってきます。

そして「リサイクルボックス」を中学校や公民館などの公共施設に設置することで、ごみを減らし、分別ステーションだけに頼らない資源再生についての提言では、その活動に彼らも積極的に参画する意思があると言ってくれました。本市の課題に対する、なんと頼もしく、嬉しい提言でしょうか。

昨年10月に、西鉄バスの海岸ルートが開通しましたが、これは「未来議会」でも提言され、その後海岸線で店舗を経営されるかたへの意見聴取等を経て現実化したものです。

皆さんの提言は、普段私自身も解決すべき課題であると感じ、本市がさらに魅力的に発展していくために重要であると考えていることと重なっており、それが驚きでもあり、ありがたくもありました。

コロナ禍のなかで、受験も控えた中学三年生が主体となった「未来議会」。素晴らしい提言を、しっかり受け止めさせていただきましたよ。

この経験も生かし、大きく羽ばたいてほしいと思います。

福津市長 **原 智 仁**

